

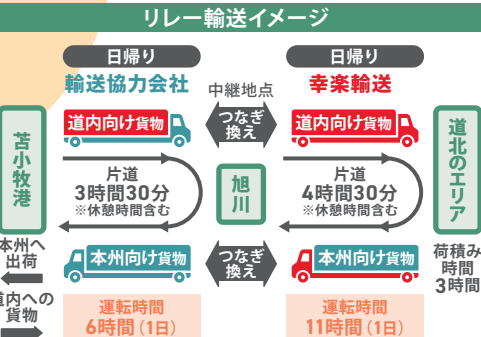
グループビジネス

北海道コカ・コーラグループは、さまざまな知見や経験、設備機材などを持った集合体です。私たちは、それらの機能やスキルを地域社会全体のために活用していくことを目指しています。

セミトレーラーの特性を活かして輸送の効率化を

報告者 S.Tさん

幸楽輸送株式会社
営業統括本部
札幌事業部長



取り組み事例

物流の効率化と社会問題を解決するリレー輸送（中継輸送）

輸送事業における時間外上限規制の変更、いわゆる「2024年問題」が注目されていますが、当社では早くからこの問題の解決のみならず、効率的な輸送という観点からも、「リレー輸送」を採用しています。

リレー輸送にはいくつかの手法がありますが、当社では所有している多くの車両がセミトレーラーなので、その特性を活かしトレーラー部分をつなぎ替える手法を取っています。貨物部分をつなぎ替えのみでリレーが可能となるこの方式では、これまでは一泊しなければ実現できなかった長距離輸送を日帰りでできることや、ドライバーの一日の規定乗車時間を遵守することが困難だった輸送への対応が可能になります。

例えば、出発時はコカ・コーラ製品、帰りには生乳タンクといった、往復で異なる貨物を牽引することで輸送の効率化へ対応することも可能です。現在は当社が拠点を持つ旭川・十勝でのリレーを行っていますが、北海道コカ・コーラグループアセットの活用をご提案することで、さらなる輸送ニーズへの対応を図り、その取り組みを売上と利益の拡大へ繋げることを目指していきます。

取り組み事例

自動販売機の一気に通貫サービス

原材料の高騰や人手不足の影響もあり、これまでにないさまざまな業種から自動販売機ビジネスへの相談が増えています。当社はそうした変化するニーズに対応するために、提案から設置、メンテナンス、そしてアフターフォローまでを一括して行い、かつ北海道全域をカバーすることを「一気に通貫サービス」としてご提供しています。

自動販売機ビジネスのプロとして、当社にはこれまで培った社員の技術力をはじめ、広域にまたがる機動力、多くのパートナーさまとの連携による調達力があります。このサービスでは、それらの要素をさらに一層高めて融合させることを目指しています。

現在は自動販売機以外にも、証明写真機や宅配ロッカー、喫煙ブースなどの重量機器類も扱い、さらに機器類以外では、空調設備、LED照明、防犯カメラなどの工事関連にも応用した一気に通貫のサービスを提供しています。

例えば、洗車機修理受託先のパートナーさまより、洗車機を格納する物置を探しているという相談を受け、物置や給湯器の提案から設置、アフターフォローまでを当社が請け負った事例もありました。今後もあらゆる場面でサービスの領域を広めて、お客さまの満足度向上に努めていきたいです。

全道の自動販売機ビジネスの窓口

報告者 T.Mさん

北海道コカ・コーラ
プロダクツ株式会社
機器統括本部
テクニカル営業部

当社の知見を地域経済にも広く活かしていくために



報告者 R.Kさん・M.Sさん・K.Mさん

北海道サービス株式会社 HR事業推進部
バックオフィス事業課

取り組み事例

バックオフィスBPO

「バックオフィスBPO事業」は、当社グループ内のバックオフィス業務のスキルを自社以外でも活用する取り組みです。これは、グループ共通の思いでもある、「地域に支えられていることに感謝し、地域にお役立ちできる企業でありたい」という考えのもとで、我々が保有している資産を活かした活動を模索する中で立ち上がりました。

給与計算や勤怠管理、会計業務サポートやコールセンター業務など、従来の業務を社外で活かすことで、委託していただいているお取引先からは感謝されるとともに、そうした評価をいただけることが、従事しているメンバーのモチベーション向上にもつながっています。また、給与計算で受託したお客さまからいただいた人員不足のお悩みに応えて人材派遣を行うなど、我々が持っているほかの業務領域でのお手伝いの機会も、少しずつですが増えています。

この事業は、お困りごとのある企業のサポートができる可能性を秘めています。お客さまとの関わりで得た知見を活かし、お役立ちできることをさらに増やしていきたいと考えています。

人的資本の充実

北海道コカ・コーラグループでは、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の実践を進めています。合わせて、「ワークとライフの充実」をコンセプトにした働き方改革に取り組んでいます。

個の力の最大化

多様な人材がそれぞれの違いを認め合い、活かしていくことで組織を躍動させるために、北海道コカ・コーラグループではD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の取り組みを進めています。さらに「ワークとライフの充実」をコンセプトにした働き方改革を進めて、エンゲージメント（働きがい）の醸成による一人ひとりの成長が図られています。部門横断的な交流の場づくりと各人のスキル向上のために、毎年ワークショップが開かれ、2023年度は3つのテーマで行っています。

- ①現場の課題について（現場のDX化、現場の効率化、SDGs推進など）
- ②グループビジネスについて（グループ連携強化、新規グループビジネスの発案など）
- ③企業風土について（心理的安全性を高める取り組み、D&I推進など）

取り組み事例

ワークショップ「現場の課題解決」

私たちは「現場の課題解決」を大きな目標に、DX化や効率化、SDGs推進などのテーマで、月2回ほどワークショップを開催しています。部門間でそれぞれが抱える課題を共有することで、新たな価値創造をもたらすヒントを得ることも目的です。

課題の発見と共有、そして解決を目指す参加メンバーはさまざまな部署から構成されていて、それぞれが現場で日々感じている仕事上の課題について情報提供と意見交換を行い、9月の提言会で発表する予定です。

「新価値創造」と「効率化」をさらにめざして

報告者 Y.Tさん

北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社
セールス統括本部 札幌第二支社
札幌西第二支店

私たちが目指しているゴールは、「売り上げ拡大のための新価値創造」と、「作業効率化（KPI報告など）」のふたつの軸からなります。現段階ではそれぞれのテーマに対してメンバー各々がこれから実現させたい夢を持ち寄り、その夢をもとに目指すべきゴールを設定して、ゴールにたどり着くための手段を検討していく、という流れです。この二軸を実現するために具体的な道筋を定め、まずは春にある中間提言会へ向けて日々活動に励んでいます。

取り組み事例

ワークショップ「企業風土」

さまざまな部署や立場のメンバーが集まって週1回、心理的安全性とD&I推進の観点から、当社の企業風土について研究しています。仕事の満足度や働きやすさについてメンバーが意見を交わし、その向上のために具体的に何をすべきかを話し合っています。私自身、自らのスキルアップや成長とともに、新しいことに挑戦する開かれた文化を社内に根づかせて、働きやすさやモチベーションの向上に貢献したいと思っています。

当社の企業風土の特徴や課題を洗い出して一人ひとりが把握していくことで、まず多様な視点やアイデアを活かすための共有基盤が育まれると思います。その基盤の上に、社員の満足度や働きやすさの向上の取り組みがいきいきと動き出し、ひいては全社の持続的な企業発展が可能になると考えています。

働きやすさの基盤としての企業風土を考える

報告者 J.Hさん

北海道コカ・コーラボトリング株式会社
営業企画本部 デジタル推進課

